



# ENGINEER'S VOICE

社会基盤部門 道路保全第2グループ **鈴木 健**  
技術士補(建設部門)

社会基盤部門 執行役員本部長 **勝俣 徹**  
技術士(建設部門・総合技術管理部門/鋼構造及びコンクリート)

## 高 速道路の維持管理

Q どのような業務を行われましたか？

中日本高速道路(株)八王子支社甲府  
保全・サービスセンターが管理する高速道路  
橋のうち26橋を対象に、次の業務を実施  
しました。

- ① 第三者へのコンクリート片の落下を防止  
する、剥落防止等の工事発注用図面の作成
- ② 地震時の落橋を防ぐための落橋防止構造  
の設計
- ③ 維持管理を容易に行う橋梁検査路の設計
- ④ 下部工への漏水対策や車両の快適な走行  
を図る伸縮装置(RC連結ジョイント)の設計。

Q 業務に携わられての感想は？

我が国で重要な位置付けがなされている  
高速道路橋について、橋梁の維持管理設計  
に携わることができました。特に、橋台と床版  
を連結させるRC連結ジョイントの設計では、  
橋梁上部工の温度変化による伸縮を下部工  
の変形により吸収させ、路面割れの漏水対策  
や快適な走行性を実現しました。未だ施工  
事例は少ない工法ですが、今回の設計は弊社  
での初実績となりました。また、業務の作業量  
が多く、新技術への挑戦ということもあり、  
今までに経験したことのないほどの試練と  
なりましたが、やりがいや完了時の喜びも  
かつてないほどでした。



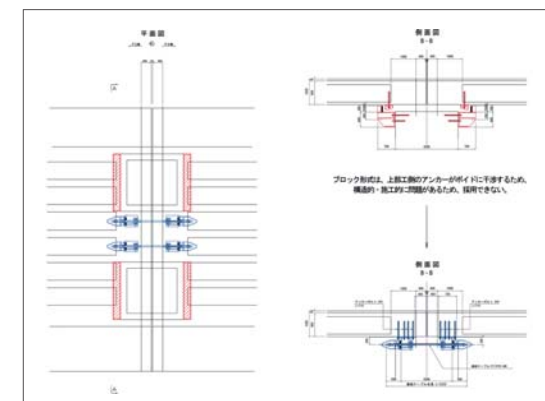
## 技 術者としての思い

Q 苦勞したこと・工夫した点を  
聞かせて下さい。

平成8年の阪神淡路大震災より、震災に  
対する安全性の確保が求められてきましたが、  
予算との兼ね合いや技術者の不足により未だ  
対応が追いついておらず、管理者の方々は  
日々奔走されていると思います。本業務では  
補修履歴が不明な橋もあり、耐震対策がなされ  
ているか、はっきりとしない状況でした。業務  
遂行において国の基準やNEXCOの基準、  
その他の基準等をもとに様々な案を作成し、  
検討すべき橋梁の選定を含め提案させてい  
だきました。工夫した点は、PC中空床版(二柱  
式橋脚)の高架橋へ落橋防止構造の設計  
を行うのに際し、外観良く、部材落下による  
第3者被害の低減を図るためにはどうすれば  
良いかという課題に対し、アンカーと床版内部  
のボイド(空洞)が干渉しないよう橋脚の間に  
上部工を連結させる構造手法を採用し課題  
を解決したことです。

苦勞した点は、まだ知識や経験の浅い私に  
とって、ここでは記載できないほどありますが、  
この業務に携わることでようやくコンサルタント  
技術者としての第一歩を踏み出したのでは  
ないかと考えています。

聞き手: NiX 情報誌編集委員会



**鈴木 健** すずきけん / 平成3年愛知県生まれ、富山  
市内在住。名城大学理工学部建設システム工学  
科卒。平成25年に土木技術者を志して、(株)新  
日本コンサルタントへ入社する。現在は、「技術士」  
資格の取得を目指して日々勉強中。

**勝俣 徹** かつまた とおる / 昭和25年神奈川県生まれ、  
富山市内在住。名古屋大学工学部土木工学科卒。  
昭和49年に橋梁設計を志して、佐藤鉄工(株)に  
入社。ほぼ37年間鋼橋の設計に携わる。平成23  
年に(株)新日本コンサルタントに入社し、主に橋梁の  
点検、長寿命化計画、補修設計業務に従事。

新技術への挑戦。  
試練を乗り越えた先の第一歩。

ENGINEER'S VOICE

国の事業に関わるという  
大きな責任と、かつてない程のやりがい。